

やまぎん

アジアニュース

2020年2月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



【大連支店】

越境 EC 販売促進イベント

1. はじめに

日本は2020年1月1日（元旦）に令和2年を迎えました。一方、中国では旧暦を採用していることから、「春節」と呼ばれる旧暦の1月1日（旧正月、西暦では2020年1月25日）をもって新年を祝います。「春節」を含む7日間は連休となることから、一年の節目として他の祝日よりも盛大に祝われ、各地で様々な行事が行われます。また、旧暦12月23日（西暦では2020年1月17日）は「小年」と呼ばれ、「小年」を迎えると、もう少しで新しい一年といった気持ちになるようです。この「小年」から「春節」までの一週間の期間では、日本と同じように、大掃除や買物など新年を迎える準備を行い、除夕（大晦日）は年越しそばではありませんが、家族で餃子などの食事をします。そして、新年を迎えると、日本語で「明けましておめでとう」を意味する「新年快樂（シンニエンクアイルー）」と新年の挨拶を交わします。

今回のアジアニュースでは、前回に引き続き越境 EC をテーマに、2020年1月に行われた越境 EC 商品の販売促進イベントをご紹介します。

2. 越境 EC 販売促進イベント

2020年1月9日（木）～1月12日（日）の4日間、大連市開発区の万達広場（大型ショッピングモール）にて越境 EC 販売促進イベントを開催しました。今回のイベントには日本企業が13社参加し、各社専用ブースでサンプル品の展示、試食、試飲等自社商品の PR を行いました。今回イベントを行った開発区は大連周水子国際空港や市内から車で約30～40分程度の場所に位置し、日系企業を中心とした製造業が集積した地区です。また、会場となった万達広場は大連市内でも最大規模のショッピングモールであり、付近にはマンション、



写真：会場の様子

大学もあることから、家族連れから若い世代まで幅広い層の来場者が多く見られました。

今回のイベントでは「ライブコマース」という技術を使用し、生中継でイベント会場の様子や商品紹介を配信しました。具体的には、中国人のアナウンサーが各ブースを訪問し、日本人スタッフが通訳を介して商品の PR を行いました。中国では、商品に対する信頼度、安全性が薄いという現状があることから、一旦とりあえず購入し、購入した商品が自分の意図したものと異なった場合に返品するということが一般的です。その点、「ライブコマース」では、視聴者である消費者の販売商品に対する疑問点や詳細な情報をリアルタイムで商品提供者へ質問することが可能であり、質疑応答のなかで、自身の購入ニーズと商品が合致しているかどうかを確認できるため、ミスマッチを回避することができます。また、視聴者と現地での質疑応答がリアルタイムで配信されることから、イベント会場に来ていない消費者の関心を引き付け、越境 EC サイトでの商品購入に繋がりました。

今回のイベント期間での越境 EC サイト「Eddimall」の売上は 13 社合計で約 60 万円（商品 293 点）となりました。「Eddimall」は、2019 年 6 月から運営を開始しましたが、12 月末現在の会員数は 6 万人（稼働会員 5 千人）、越境 EC 商品の累計売上高は約 440 万円となっており、小規模ながら着実に認知度は向上しています。また、「Eddimall」が取り扱っている越境 EC 商品は全て日本商品であり、返品率は 0%を維持しています。

イベント終了後のアンケートでは、「イベントが役に立った」との意見が 91%を占め、参加企業 13 社のうち、8 社が次回イベントの参加を希望する回答を得ることができました。今回のイベントは、昨年 9 月に行われた「第 11 回大連日本商品展覧会」に続く第二回目の越境 EC 販促イベントになりましたが、当店では引き続き、日本企業の商品 PR および越境 EC サイト「Eddimall」の認知向上を目的に定期的にイベントを開催していきます。

2020 年度の当店が主催・協力する大連市におけるイベント（予定）

イベント名	第 6 回大連地区日本商品巡回展	第 12 回大連日本商品展覧会
日程	6 月 24 日(水)~27 日(土)4 日間	9 月 25 日(金)~27 日(日)3 日間
募集期間	2 月 7 日(金)~3 月 31 日(火)	3 月 1 日(日)~7 月 31 日(金)
時間	10:00~20:00 最終日 17:00	9:00~16:30
形式	B to C 販売会	
出店商品	越境 EC 商品、一般貿易商品	
ブース代金	3,000 元	
特徴	野外イベント、夏祭り同時開催	前年は 3 日間で合計 10 万人超来場

3. 終わりに

中国では昨年 1 月に越境 EC に関して、販売商品の拡大や取引限度額の引き上げ等規制緩和が実施されました。また、同年 12 月には越境 EC 総合試験区の設立を新たに 24 都市

が許可されていることから、今後も越境 EC 市場の拡大が見込まれます。日中関係においても、2019 年の訪日中国人客が過去最高の 959 万人を記録しており、着実に改善方向へ歩みを進めていることが感じられます。全ての日本商品が越境 EC 商品に当てはまりませんが、依然として、日本商品に対する信頼度は高く、良質な商品であれば相応の対価を支払っても構わないと考える中国人も少なくありません。

折しも本記事の執筆時に、中国の新型コロナウイルスに係るニュースが日を追うごとに深刻化しています。簡単に大連の現状を紹介すると、大連地域は他地区に比べると発症数は少ない地域ではありますが、感染拡大を防ぐために一部交通機関の停止や企業への休業命令等が実施されています。感染防止のため、皆マスクを着用しており、外出している人は疎らで、飲食店はほとんど開いていない状態です。一方で、現地の方の中には、マスクや食事の差入れ等私たち日本人を気遣ってくれる方もいます。大連は、歴史的な背景からもこのように日本人に対して非常に友好的な地域です。また、日本からの距離が非常に近いことから、多くの日系企業が進出している地域でもあります。中国市場への開拓を検討する場合には、是非一度当地へのご訪問をお勧めします。私ども大連支店では、中国ビジネスに関する様々な情報発信や当地でのネットワークを通じて、企業様のニーズや抱える悩みに対してお手伝いをさせていただきます。是非お気軽にご相談ください。

(山口銀行大連支店 古屋俊雄)

【参考文献】

- ・日本経済新聞「訪日中国人客 最高の 959 万人」2020 年 1 月 20 日 朝刊